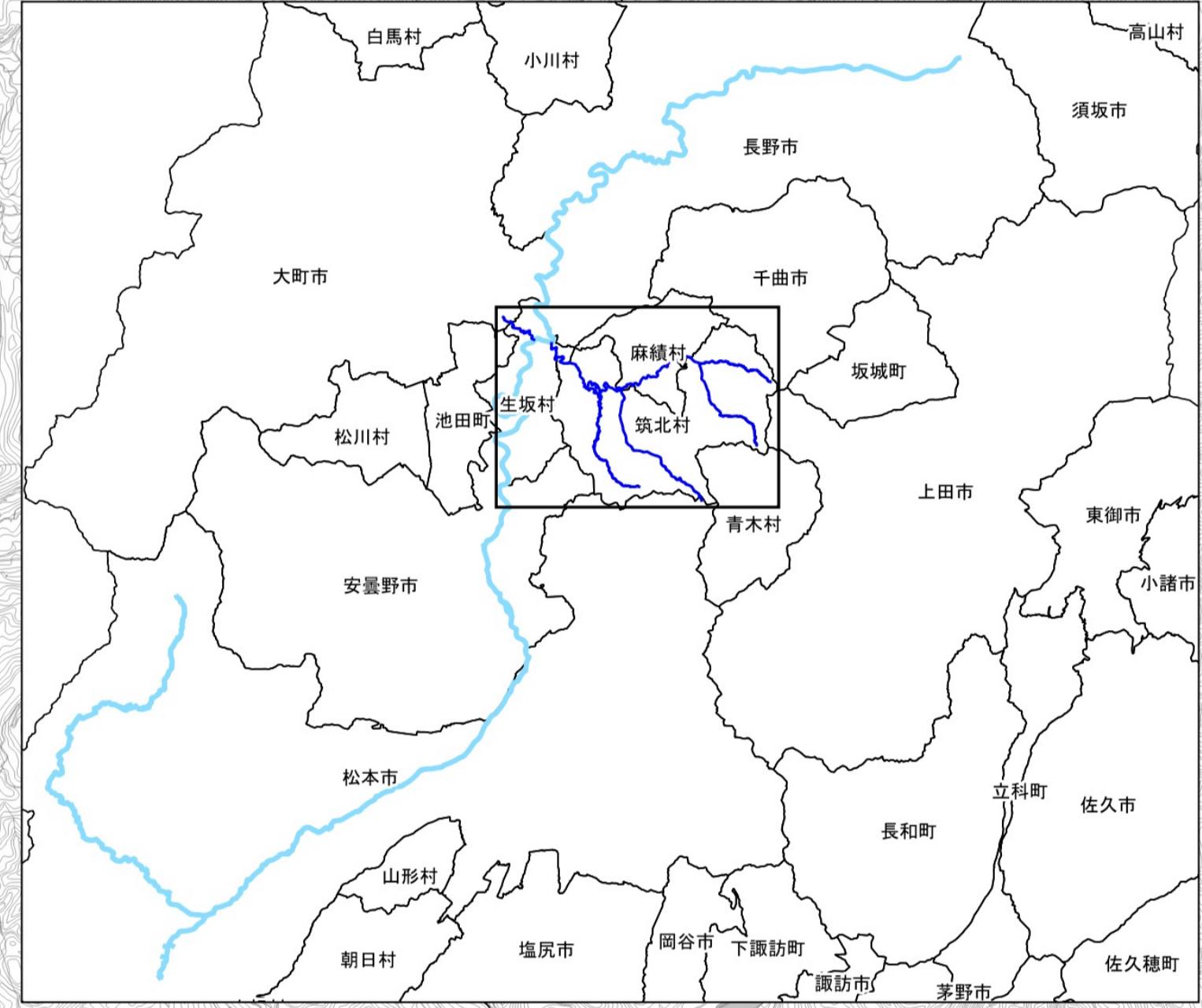
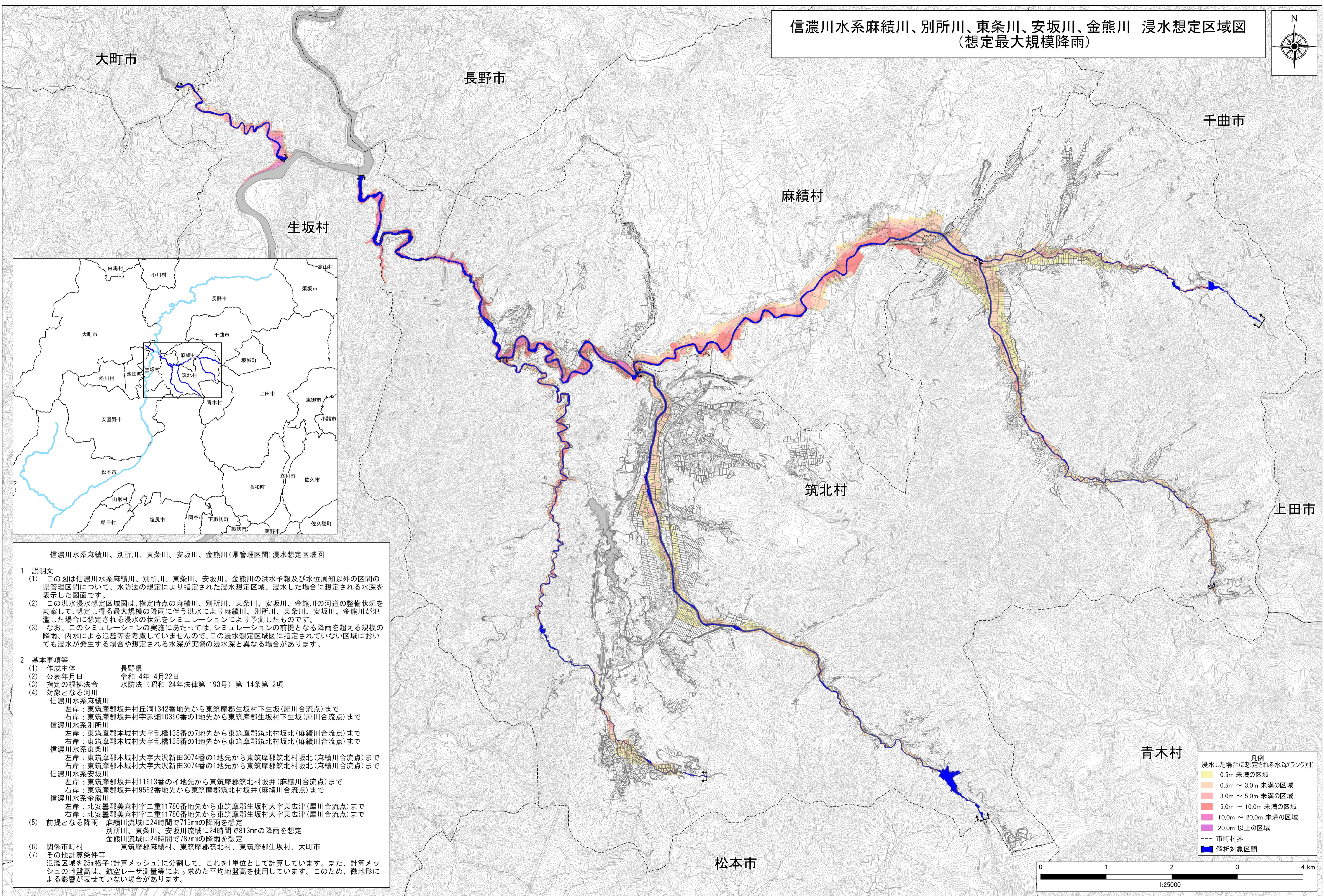
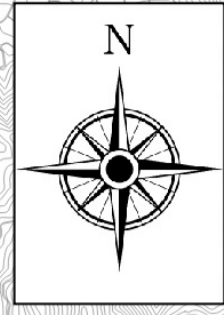


信濃川水系麻績川、別所川、東条川、安坂川、金熊川 浸水想定区域図  
(想定最大規模降雨)



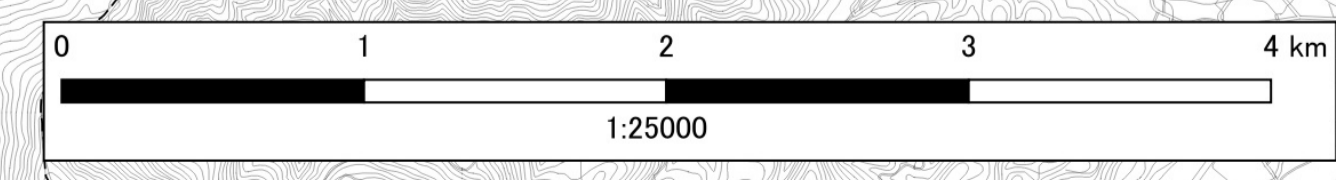
信濃川水系麻績川、別所川、東条川、安坂川、金熊川(県管理区間) 浸水想定区域図

1 説明文  
 (1) この図は信濃川水系麻績川、別所川、東条川、安坂川、金熊川の洪水予報及び水位周知以外の区間の県管理区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
 (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の麻績川、別所川、東条川、安坂川、金熊川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により麻績川、別所川、東条川、安坂川、金熊川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等  
 (1) 作成主体 長野県  
 (2) 公表年月日 令和 4年 4月22日  
 (3) 指定の根拠法令 水防法(昭和 24年法律第 193号) 第 14条第 2項  
 (4) 対象となる河川  
 信濃川水系麻績川  
 左岸: 東筑摩郡坂井村丘洞1342番地先から東筑摩郡生坂村下生坂(犀川合流点)まで  
 右岸: 東筑摩郡坂井村字赤畑10350番の1地先から東筑摩郡生坂村下生坂(犀川合流点)まで  
 信濃川水系別所川  
 左岸: 東筑摩郡本城村大字乱橋135番の7地先から東筑摩郡筑北村坂北(麻績川合流点)まで  
 右岸: 東筑摩郡本城村大字乱橋135番の1地先から東筑摩郡筑北村坂北(麻績川合流点)まで  
 信濃川水系東条川  
 左岸: 東筑摩郡本城村大字大沢新田3074番の1地先から東筑摩郡筑北村坂北(麻績川合流点)まで  
 右岸: 東筑摩郡本城村大字大沢新田3074番の1地先から東筑摩郡筑北村坂北(麻績川合流点)まで  
 信濃川水系安坂川  
 左岸: 東筑摩郡坂井村11613番のイ地先から東筑摩郡筑北村坂井(麻績川合流点)まで  
 右岸: 東筑摩郡坂井村9562番地先から東筑摩郡筑北村坂井(麻績川合流点)まで  
 信濃川水系金熊川  
 左岸: 北安曇郡美麻村字二重11780番地先から東筑摩郡生坂村大字東広津(犀川合流点)まで  
 右岸: 北安曇郡美麻村字二重11780番地先から東筑摩郡生坂村大字東広津(犀川合流点)まで  
 (5) 前提となる降雨 麻績川流域に24時間で719mmの降雨を想定  
 別所川、東条川、安坂川流域に24時間で813mmの降雨を想定  
 金熊川流域に24時間で787mmの降雨を想定  
 (6) 関係市町村 東筑摩郡麻績村、東筑摩郡筑北村、東筑摩郡生坂村、大町市  
 (7) その他計算条件等  
 氾濫区域を25m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

凡例

0.5m 未満の区域	浸水した場合に想定される水深(ランク別)
0.5m ~ 3.0m 未満の区域	
3.0m ~ 5.0m 未満の区域	
5.0m ~ 10.0m 未満の区域	
10.0m ~ 20.0m 未満の区域	
20.0m 以上の区域	
--- 市町村界	
■ 解析対象区間	



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 3JHs 869  
 測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 3JHf 476  
 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。  
 この地図は、筑北村長の承認を得て、筑北村作成の筑北村1/10,000数値地形図(DM)データを複製したものである。(3筑建第297号)